

所 属	歴史博物館
所属長	伊元 俊幸
電 話	06-6489-9801

尼崎市立歴史博物館第7回企画展

「ダンスホールのまち尼崎」「むかしのくらしむかしの小学校」を開催します

1 実施期間

尼崎市立歴史博物館では、年間3回程度、尼崎の歴史や文化財に関して、館蔵資料を中心に展示する企画展を開催しています。第7回となる今回は、「ダンスホールのまち尼崎」と「むかしのくらしむかしの小学校」をテーマに2本立てで開催いたします。

1月7日（土）～3月26日（日）

午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

※月曜日休館。1月9日（月）は開館し、翌日が休館

2 「ダンスホールのまち尼崎」の概要

(1) 概 要

昭和戦前の尼崎は、阪神国道（現・国道2号）沿線に4か所もダンスホールが所在した、関西を代表するダンスホールのまちでした。第7回企画展「ダンスホールのまち尼崎」では、尼崎に所在したダンスホールの歴史や様子について、当時のダンスホール雑誌やチケット、写真など多彩な資料により紹介します。尼崎のダンスホールを本格的に紹介する初の展覧会となり、本展が初公開となる貴重な資料を多数展示します。

(2) 会場

尼崎市立歴史博物館 3階 企画展示室

(3) 主な展示資料

- ・大尼崎鳥瞰図（写真ポネル展示、当館所蔵）
- ・大日本職業別明細図尼崎市街図（当館所蔵）
- ・尼崎今昔物語（当館所蔵）
- ・ダンスホールのチケット・マッチラベル（当館所蔵、永井良和氏所蔵）
- ・雑誌「ダンスファン」（永井良和氏所蔵）
- ・雑誌「ダンス時代」（永井良和氏所蔵）
- ・ダンスパレスニュース（永井良和氏所蔵）
- ・ダンスパレスを撮影した写真（平井英雄氏旧蔵）
- ・三島由紀夫『奔馬』（当館所蔵、杭瀬所在のダンスホールが登場する小説）

(4) 出品点数

約70点

(5) 関連事業

① 記念講演会

- ・日 時 2月8日（水） 午後2時～4時
- ・会 場 尼崎市立歴史博物館 3階 講座室

- ・講師 関西大学社会学部教授 永井良和
- ・演題 さあ、これから杭瀬へ行こ。～昭和戦前期、尼崎・小田のダンスホール～
- ・定員等 70人、1月5日（木）から電話・ファクスで先着順受付、受講無料

② 水曜歴史講座

- ・日時 1月11日（水） 午後2時～4時
- ・会場 尼崎市立歴史博物館 3階 講座室
- ・講師 尼崎市立歴史博物館 西村豪
- ・演題 昭和初期の商業建築とダンスホールのデザイン
- ・定員等 70人、1月5日（木）から電話・ファクスで先着順受付、受講無料

③ ワンポイント講座&ギャラリートーク

- ・1月8日（日） 演題：阪神国道開通と国道4ホール、講師：桃谷和則（当館学芸員）
- ・1月22日（日） 演題：日本ダンス・ジャズ史の中の尼崎、講師：永井良和
- ・2月11日（土） 演題：ダンスホール建物のその後、講師：西村豪
- ・2月25日（土） 演題：インテリダンサー桂宮子のこと、講師：桃谷和則
- ・3月5日（日） 演題：阪神間のダンスホール音楽、講師：永井良和
- ・3月25日（土） 演題：鼎談・展覧会を振り返って、講師：永井・西村・桃谷

※時間は各回とも午後2時から3時30分まで

※各回とも、本企画展に関する上記のワンポイント講座を行ったのち、展示会場で主な展示資料を解説します。

※各回とも定員20人、当日直接会場へ、参加無料

3 「むかしのくらしむかしの小学校」の概要

(1) 概要

むかしのくらしについては、平成29年（2017）に尼崎市内で撮影した「かまど（おくどさん）」を使った炊飯の記録映像の常時上映を中心に、炊飯方法の変遷を紹介します。また、むかしの小学校については、昭和8年（1933）に尼崎市内の小学校の様子を撮影した実写映像の常時上映を中心に、昭和戦前の小学校について紹介します。

(2) 会場

尼崎市立歴史博物館 3階 展示学習室

(3) 主な展示資料

- ・記録映像「尼崎のおくどさん」（当館所蔵）
- ・羽釜（当館所蔵）
- ・初期の電気炊飯器（当館所蔵）
- ・記録映像「我が学校」（当館所蔵）
- ・昭和初期の小学校教科書（当館所蔵）

(4) 出品点数

約30点

4 担当

尼崎市教育委員会 社会教育部 歴史博物館 担当学芸員：桃谷和則

〒660-0825 尼崎市南城内10番地の2 電話 06-6489-9801 FAX 06-6489-9800